

10 - 10 福岡県西方沖地震の震源域における反射法探査記録について

Seismic profiles around the hypocentral region of the earthquake Off-shore West of Fukuoka prefecture

海上保安庁海洋情報部

Hydrographic and Oceanographic Department, Japan Coast Guard

福岡県西方沖地震の震源域において、平成8年に実施した反射法探査記録について、余震域部分を抜き出して記録を確認した（第1図）。

その結果、余震域内の反射法探査記録（音源：スパーカー）からは、表層の堆積層が厚さ10m以下と薄く、音響的基盤層（ここではV層：第三期層に対比）が海底下浅所まで分布しており、地層を切るような明瞭な断層の判別は困難であった。

A - A' 断面では、記録の中央に断層が確認できるが、余震分布範囲の海底下には断層は確認できない（第2図）。B - B' 断面では、音響的基盤層が海底直下まで分布しており、ところどころ西傾斜の層理面がみられる（第3図）。C - C' 断面では、記録の中央に断層が確認できるが、余震分布範囲では音響的基盤層が海底直下まで分布しており、断層は確認できない（第4図）。

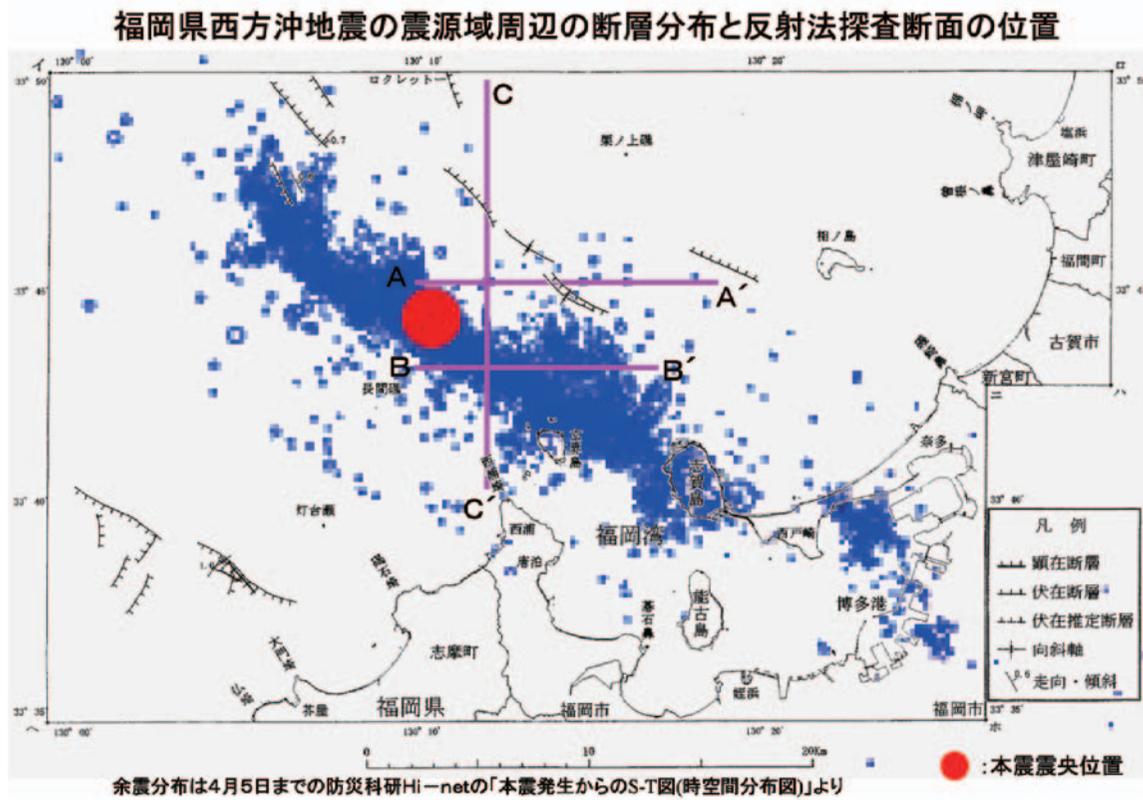
調査スペック

- ・ 調査船：測量船「明洋」
- ・ 調査時期：平成8年7～9月
- ・ 調査機器：スパーカー

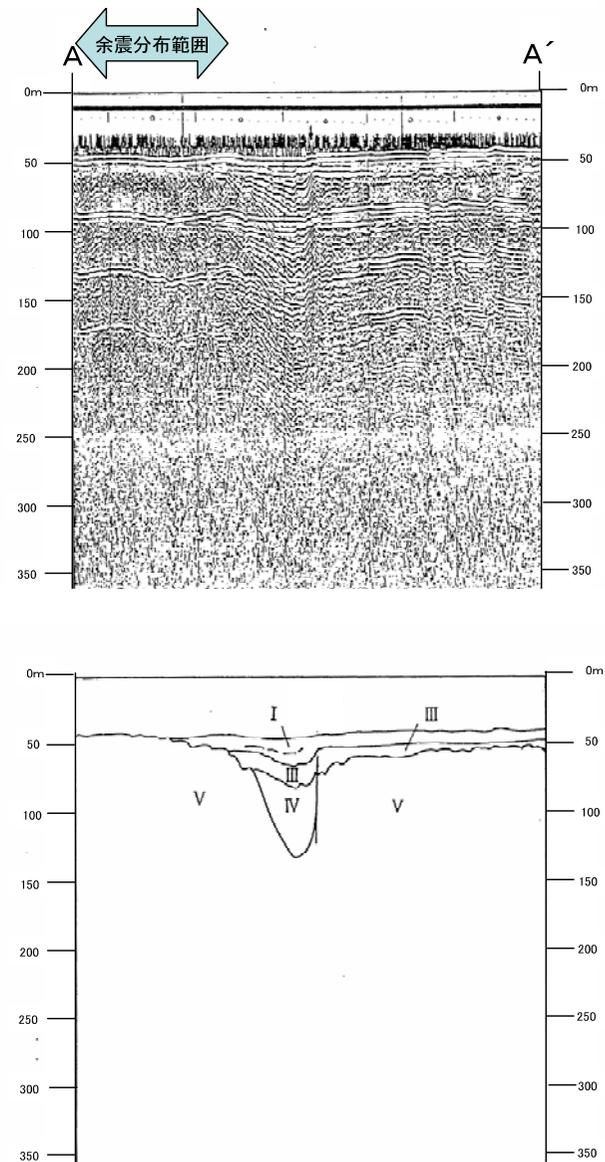
発振エネルギー 1000J

発振間隔 1 秒

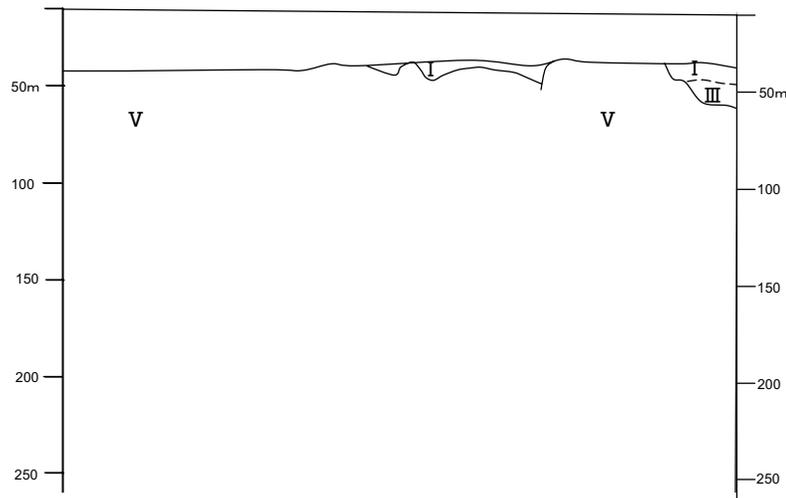
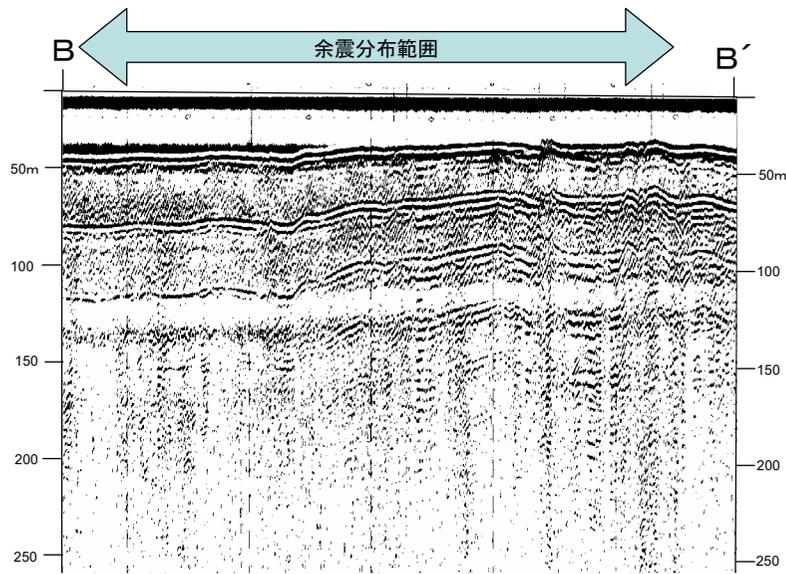
周波数域 100 ～ 500Hz



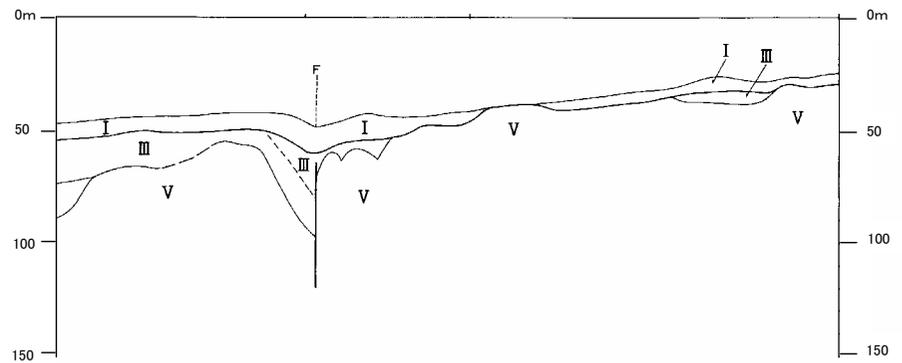
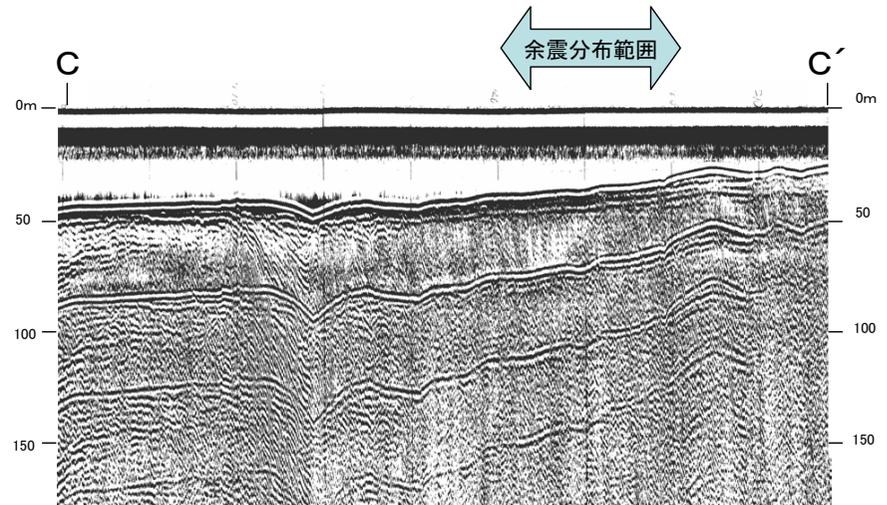
第1図 震源域周辺の断層分布と反射法探査測線
Fig.1 Distributions of faults and track lines of seismic reflection survey around the hypocentral region.



第2図 スパーカーによる反射法探査記録 (A-A') とその地質断面
Fig.2 Seismic reflection profile(A-A') by the sparker and the geological section.



第3図 スパーカーによる反射法探査記録 (B-B') とその地質断面
 Fig.3 Seismic reflection profile(B-B') by the sparker and the geological sections.



第4図 スパーカーによる反射法探査記録 (C-C') とその地質断面
 Fig.4 Seismic reflection profile(C-C') by the sparker and the geological sections.